

# 国保税、介護、ごみ最終処分場などで論戦

12月議会の一般質問には総勢28人が登壇しました。日本共産党議員団は7日に杉本議員と橋爪議員が、10日に樋口議員が質問に立ちました。議員団がとり上げたテーマは、国民健康保険税、ごみ最終処分場、雪対策などいずれも市民の生活に係わるものばかりです。

杉本議員は国保財政調整基金が底を突く寸前であることを明らかにし、市民負担増を避けるため、一般会計からの繰入れ、医療費に関わる国庫負担率の引き上げを求めました。橋爪議員は、効率的な除雪体制の検討や介護施設労働者の労働条件改善を訴えました。樋口議員は、9月議会に続いて、ごみの最終処分場予定地の問題点を追及しました。

以下は、3議員の一回目の質問の一部です。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

## 一般会計から繰入しても国保税引き上げるな

【杉本議員】国民健康保険特別会計の単年度収支が赤字であるが、一般会計から繰り入れてでも国保税の引上げをすべきではないと思うが、いかがか。

【木浦市長】平成17年度及び18年度の実質単年度収支は約6億円の赤字となり、また、合併以後3年間における国保財政調整基金からの取崩し額は、本年度の予定額を含め、合わせて約7億8千万円となっており、本年度の医療給付費の動向によっては基金が底をつき極めて危機的な状況にある。一般会計も極めて厳しい財政運営を強いられる中で、市税を国保加入者の皆さんのために活用することにについては、様々な議論があり、私としても、現行の国保制度が抱える構造的な問題や合併後の当市の国保財政の状況を踏まえつつ、あらゆる角度から検討を加え総合的に判断してまいりたい。

【杉本議員】一般会計からの繰入れ分について、交付税措置をするなど国が対応するよう要求すべきではないか。

【市長】全国市長会や国保中央会では、繰り返し国及びすべての国会議員に要望してきている。当市といたしましても、今後とも市長会等を通じ、財政支援の拡充を要望してまいりたい。

## 運転免許証更新にあたって送迎バスの運行を

【橋爪議員】旧頸北地域住民から、柿崎区の交番または試験場で更新手続きができるようにしてほしいとの要望が依然としてでている事態をどう受け止めるか。全国では免許証更新にあたって送迎バスを出している自治体がある。当市でも検討すべきではないか。

【市長】現時点においては、同交番における業務再開及び運転免許センター上越支所における運転免許更新業務の実施などについては、難しい状況にあるものと認識している。市としては、機会を捉え地元の方々の皆さんのご意見を県警察本部へお伝えしたいが、いずれ上越警察署統合後の警察業務に対する総合的な評価や検証が行われることもあるのではないかと思いますので、その際にも働きかけてみたい。送迎バスは今後、他の自治体の状況や事例なども参考に調査・研究してみたい。

【橋爪議員】合併してまもなく4年目になる。これまでの除雪データをもとに効率的な除雪体制をどうつくるか検討していくべきではないか。

【市長】これまで築き上げてきた水準を維持しつつ、効率的な除雪体制を検討する時期が来ていると考えている。

## 春日山地域にごみ最終処分場は問題だ

【樋口議員】最終処分場の整備候補地について、当市にとって最も重要な観光・文化資源がある春日山地域に整備するのは好ましくないと思うがどう思うか。

【市長】今回選定した「宮野尾地区」は、国指定の極めて広い春日山城跡の範囲から更に西へ500m以上離れた場所であり、春日山城跡から城ヶ峰岩まで通じる古道桑取道にも影響しない場所に位置しており、春日山地域の観光や文化的価値を損なうものではないと決まっています。

【樋口議員】道路除雪の際、玄関先に雪のかたまりを置かないなど要援護世帯に配慮した除雪を業者に依頼しているが、その現状をどう認識しているか。

【市長】要援護世帯の除雪につきましては、毎年、除雪事業者の皆さんに要援護世帯の位置を示した地図をお渡しし、該当する世帯の玄関先に雪をできる限り寄せないように配慮をお願いしている。しかし、家屋が連たんする市街地においては、物理的に雪を寄せるスペースがなく、降雪の状況によっては十分な配慮ができません。ご不便をおかけする結果となっている場合もある。今後におきましても、できる限り配慮していただくよう、除雪事業者の皆さんに引き続きお願いしてまいりたいと考えている。



## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.120	2007年12月16日
連絡先	杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
	樋口良子 544-6802 (中門前3)
	橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

上野公悦事務局長のHPアドレスが<http://koetu.sakura.ne.jp/>に変わりました。

新潟日報での『山村集落再生の可能性』の紹介は16日になりそうです。本は春陽館、柿村書店、戸田書店にあります。